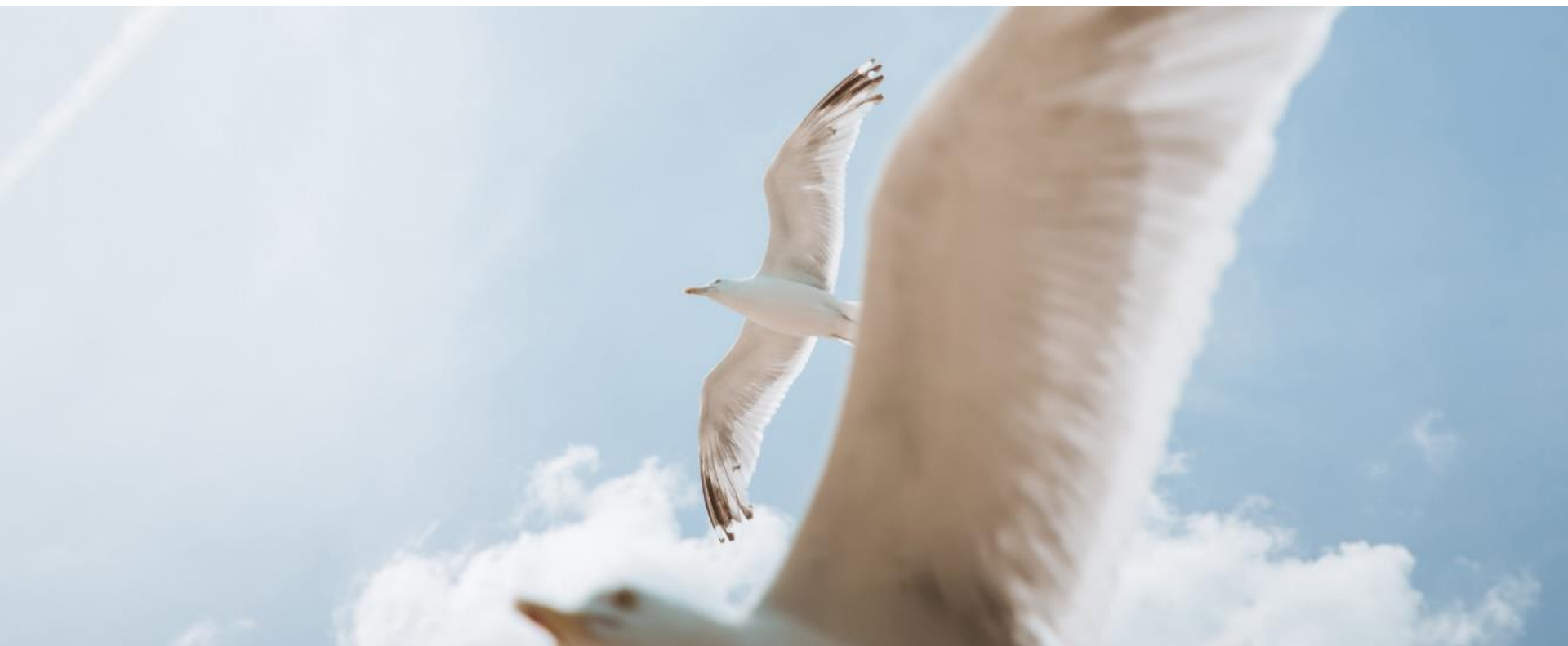


# 決算補足資料（2023年3月期第1四半期）

2022年8月3日 / 株式会社 シグマクシス・ホールディングス（証券コード:6088）



# 2023年3月期第1四半期 決算概況

## サマリー

- 堅調な連結業績で業績予想の進捗率は連結売上高23%、経常利益20%。
- コンサルティング事業: DX戦略策定、新規事業やサービス開発、組織と人財の活性化など企業のトランスフォーメーションを支援するプロジェクトが事業を牽引。
- 投資事業: 新たにフォレストエナジー株式会社に約2億円の出資。第1四半期末時点の累計投資残高は約20億円。

単位: 百万円	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率	2023年3月期 連結業績予想	業績予想 進捗率
連結売上高	3,415	3,871	+13%	17,200	23%
(コンサルティング事業)	3,442 (※)	3,888 (※)	+13%		
(投資事業)	39 (※)	12 (※)	▲68%		
経常利益	364	644	+77%	3,180	20%
(経常利益率)	11%	17%			
四半期純利益	153	392	+156%		
自己資本比率	74%	75%			

※ セグメント間の内部売上高等含む。

# 2023年3月期第1四半期 連結損益計算書

単位:百万円	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比		主な増減
			増減額	増減率	
売上高	3,415	3,871	+455	+13%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高の増加、稼働率の上昇及び外注費の減少により増加</li> <li>・対面活動の正常化に伴う諸経費の増加</li> <li>・採用費の増加</li> </ul>
売上総利益	1,420	1,897	+476	+34%	
販管費	1,041	1,265	+224	+22%	
営業利益	379	631	+252	+67%	
経常利益	364	644	+279	+77%	
税金等調整前 四半期純利益	364	644	+279	+77%	
四半期純利益	153	392	+239	+156%	

## 2023年3月期第1四半期 セグメント別業績 概況

単位:百万円	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
連結売上高	3,415	3,871	+455	+13%
（コンサルティング事業）	3,442	3,888	+445	+13%
（投資事業）	39	12	▲26	▲68%
（内部取引）	▲66	▲29	+36	—
セグメント利益	840	1,092	+252	+30%
（コンサルティング事業）	846	1,158	+312	+37%
（投資事業）	▲6	▲65	▲59	—
売上高セグメント利益率	24%	28%	—	—
（コンサルティング事業）	25%	30%	—	—
（投資事業）	—	—	—	—

# 重要業績評価指標 (KPI)

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	対前年同期比
連結売上高 経常利益率	11%	17%	+6%

コンサルティング事業	2022年3月期 第1四半期末	2023年3月期 第1四半期末	対前年同期比
コンサルタント数	511	514	+1%
プロジェクト 満足度(NSI*)	94	96	+2pt

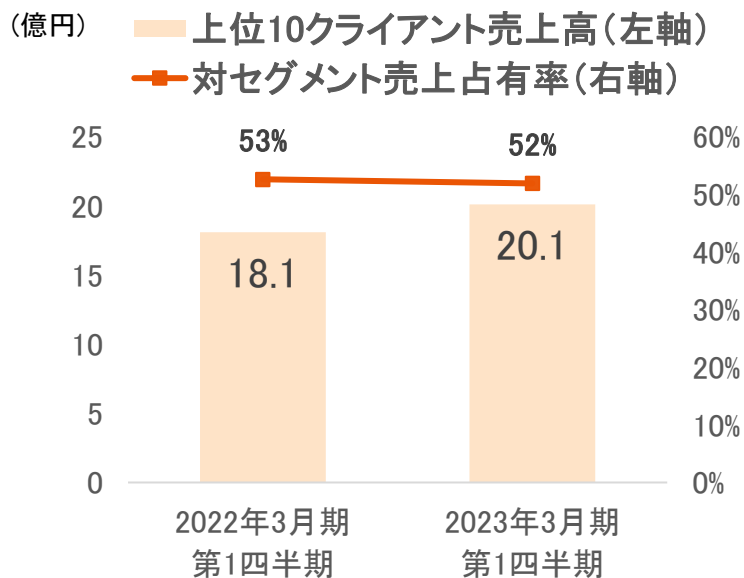
投資事業	2022年3月期末	2023年3月期 第1四半期末	増減
投資残高	約18億円	約20億円	+約2億円

\* NSI (Net Satisfaction Index) : プロジェクト満足度評価における全10問、五段階評価結果の平均点。クライアントのプロジェクトオーナーにアンケート形式で実施。五段階評価は、5:大変そう思う 100点、4: そう思う 75点、3: どちらとも言えない 50点、2: そう思わない 25点、1: 全くそう思わない 0点で配点。

## (参考)セグメント情報

コンサルティング事業は流通、商社、通信、金融、製造業のクライアントを中心に売上が拡大。投資事業は再生可能エネルギー関連の新規投資先を追加し、投資残高が約20億円に。

### コンサルティング事業



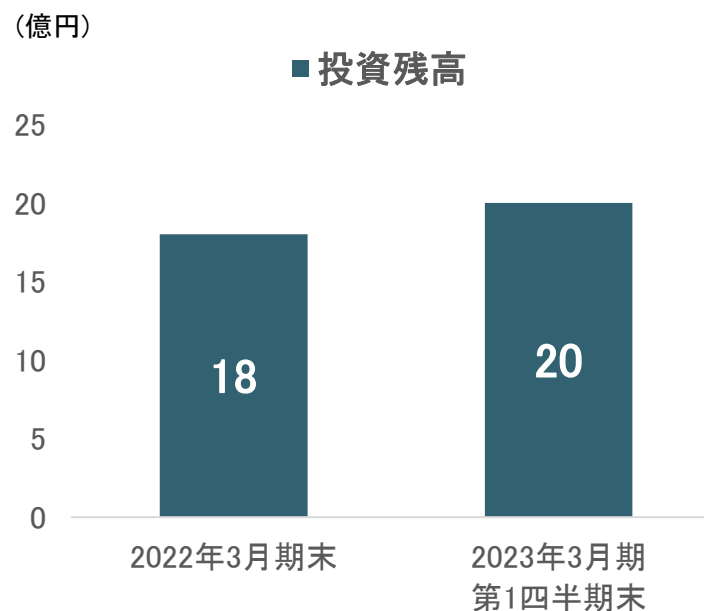
	2023年3月期 第1四半期	対前年同期比
プロジェクト数 **	358	+3%
クライアント数 ***	118	+1%
契約あたり売上(百万円)	10.9	+11%

\*\* プロジェクト数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトを契約単位で集計。

\*\*\* クライアント数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトのクライアントを法人単位で名寄せして集計。

Copyright SIGMAXYZ Holdings Inc. all rights reserved.

### 投資事業



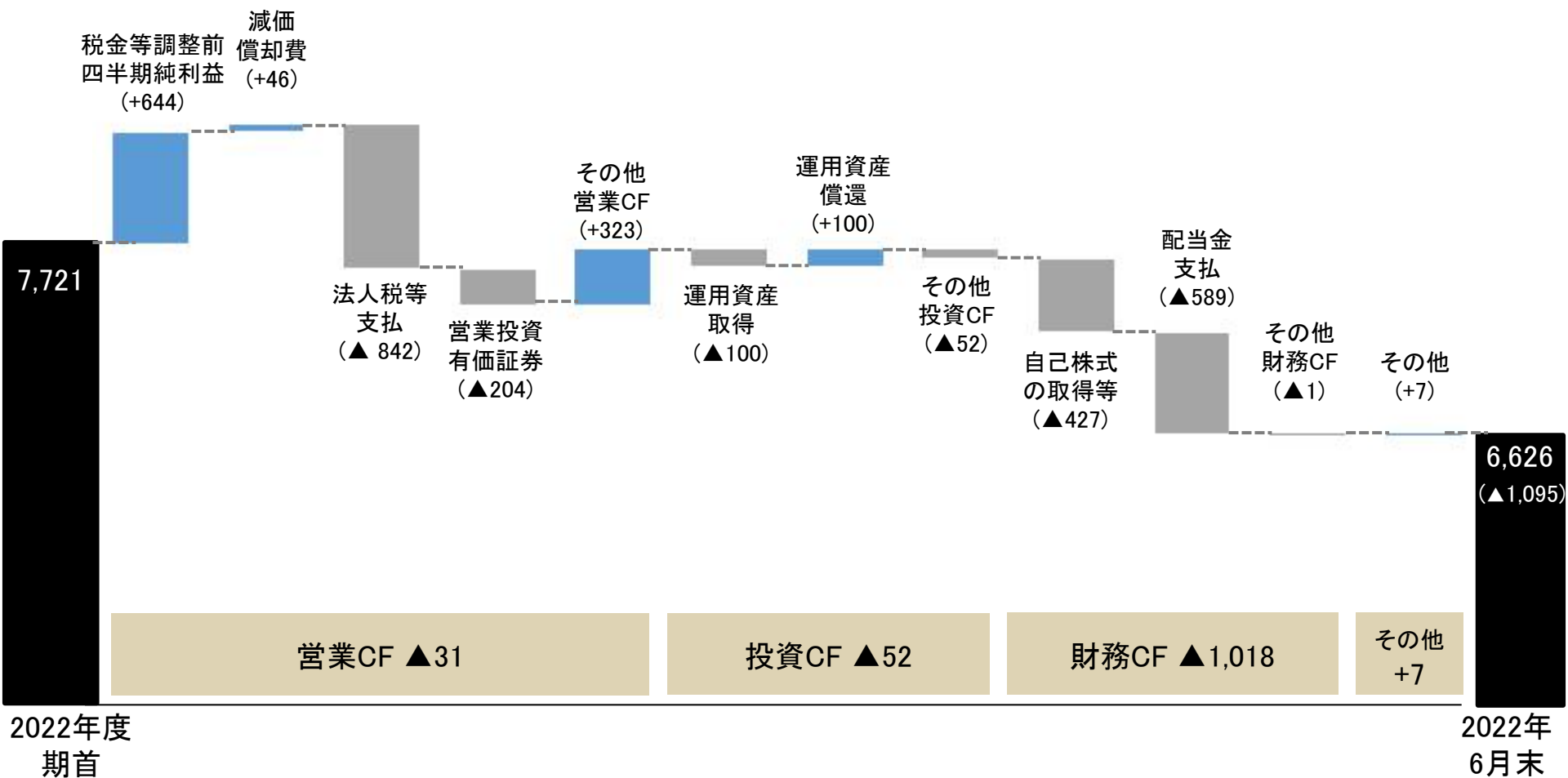
- 投資残高 約20億円
- 新規投資 1件 フォレストエナジー
  - ・木質バイオマス発電等による再生可能エネルギー事業

## 2023年3月期第1四半期 連結貸借対照表

単位:百万円	2022年 3月期末	2023年 第1四半期末	対前期末	主な増減
流動資産	12,147	10,754	▲1,393	・現金及び預金、売掛金の減少
現金及び預金	7,721	6,626	▲1,095	
固定資産	2,509	2,469	▲39	
資産合計	14,656	13,223	▲1,433	
流動負債	2,764	1,790	▲974	・未払法人税等の減少
固定負債	1,589	1,560	▲28	
負債合計	4,354	3,350	▲1,003	・自己株式の取得等による減少
純資産	10,302	9,872	▲429	
自己資本比率	70%	75%		

# 連結キャッシュフローの推移

(単位:百万円)

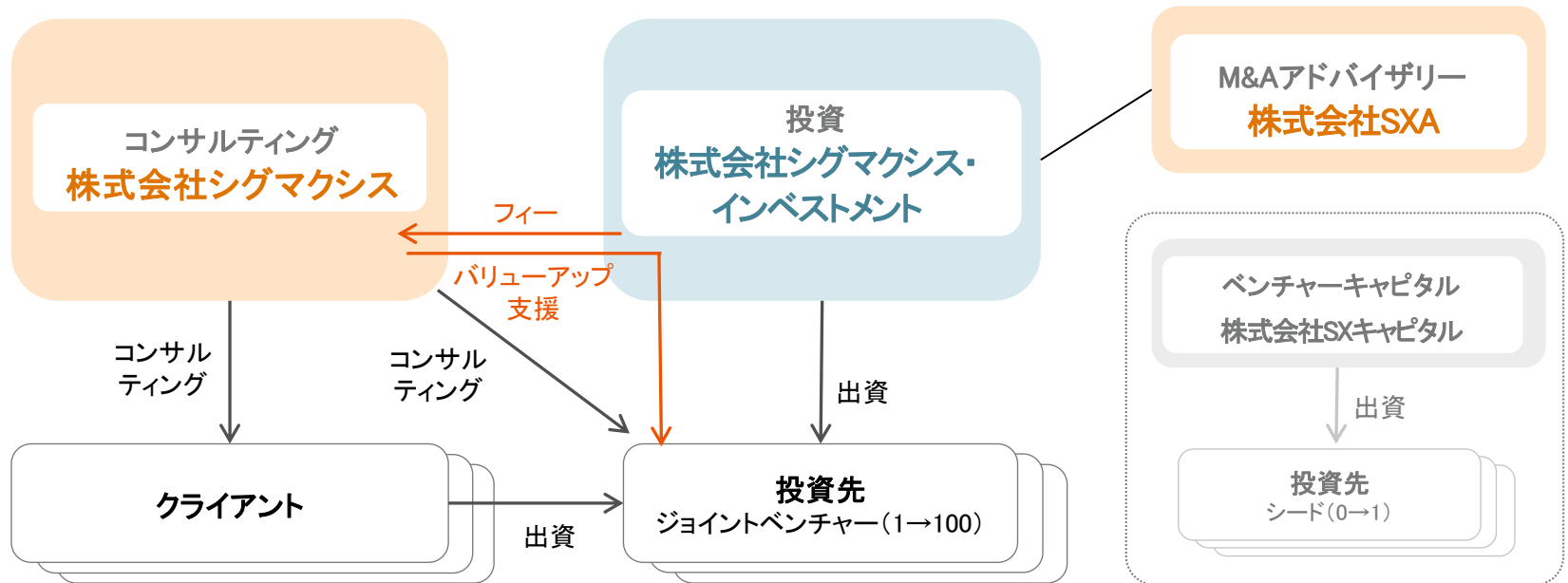




# シグマクシス・グループの事業

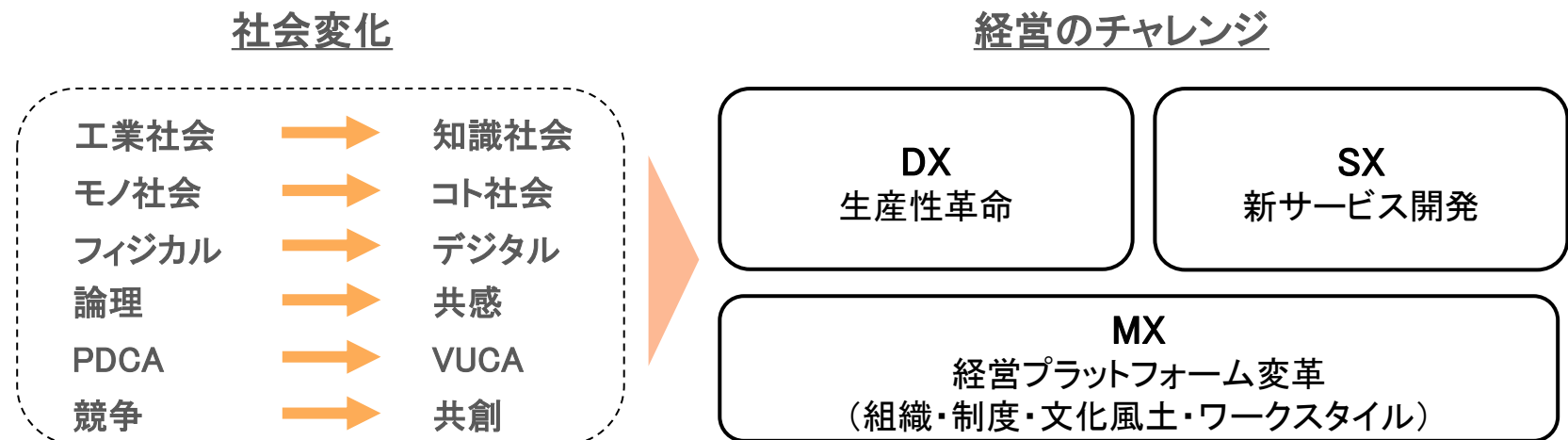
- 「コンサルティングサービス」と「投資」を事業の軸とし、グループ各社のシナジーにより、幅広い産業・企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場の創出を行う。
- コンサルティング事業では、構想提案、新規事業・サービス開発、デジタル先端技術、SaaS/クラウドソリューション、プロジェクトマネジメント等のプロフェッショナルを揃え、新しい価値の創造を支援。
- 投資事業は、複数の産業を横断した「リジェネラティブ&ウェルビーイング」領域を中心に投資。また、投資先に対して、コンサルティングによるバリューアップ支援で企業価値向上をサポート。

持株会社 株式会社シグマクシス・ホールディングス



# デジタル経済下で企業が取り組むべき 主要なトランスフォーメーション(「3つの変革」)

- **マネジメント・トランスフォーメーション (MX: Management Transformation)**  
事業に関わる人の自律性と心理的安全性を保障し、エンゲージメントを向上させ、継続的にイノベーションを創発して、迅速な個客対応を可能にするプラットフォームを構築する
- **デジタル・トランスフォーメーション (DX: Digital Transformation)**  
コアビジネスモデルを変革し、生産性革命によって大幅な業績向上を実現する
- **サービス・トランスフォーメーション (SX: Service Transformation)**  
新たな成長エンジンとなるビジネスモデルを成長市場で構築する



# 経営プラットフォーム改革(マネジメント・トランスフォーメーション)

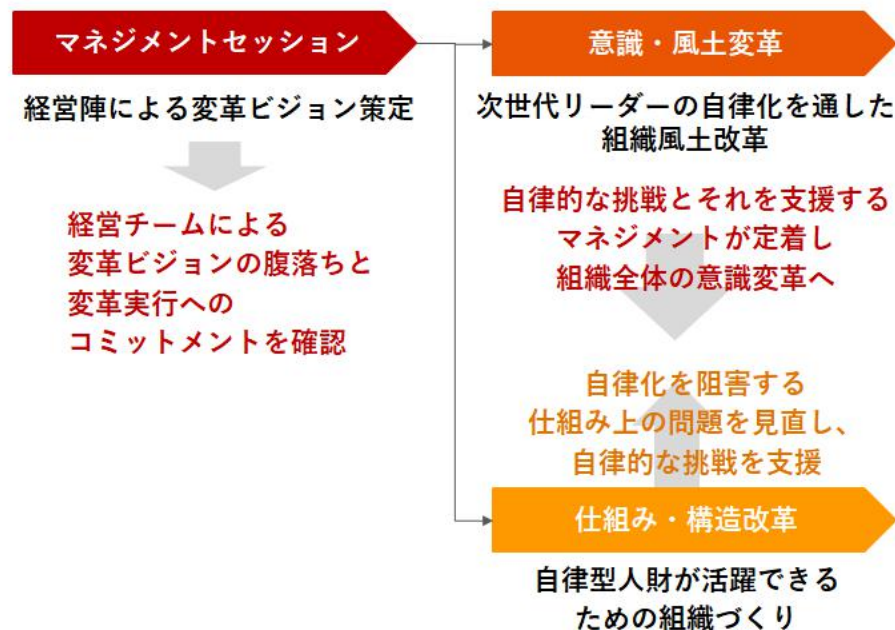
東洋アルミニウム株式会社様の経営プラットフォーム改革(マネジメント・トランスフォーメーション)を、シグマクスが支援。

創業91年の歴史を持つ同社では、従来型の人事制度や組織構造からの脱却と、社員がモチベーション高く働くための環境構築を目指し、2020年4月から2年にわたり、グループ企業を含めた経営プラットフォーム改革を実施。企業理念の設定、自律型組織への変革、能力とチーム共創を重視した人事制度改革、クラウド型コミュニケーションシステムの導入などを実現した。

シグマクスは、自社でのマネジメント・トランスフォーメーション実践による経験・ノウハウを活用し、各施策の提案と実行支援を行った。



## MX推進のアプローチ



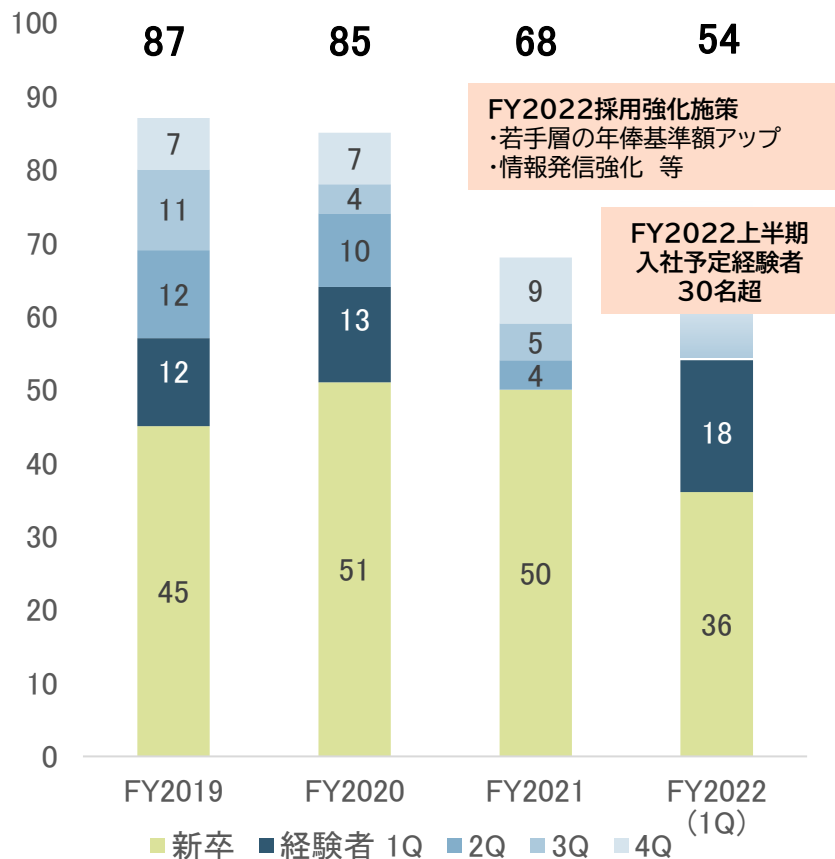
- ・[なぜ伝統を否定するような改革ができるのか？ 東洋アルミニウム「脱昭和の改革」](#) (Biz Hint:2022/5/27)
- ・[「従業員2500人のマインドチェンジ」、伝統的な“日本の製造業”で自律型組織を作るには](#) (Biz Hint:2022/5/30)
- ・[東洋アルミニウム様:第11回日本HRチャレンジ大賞「奨励賞」授賞のお知らせ](#)

# 採用活動

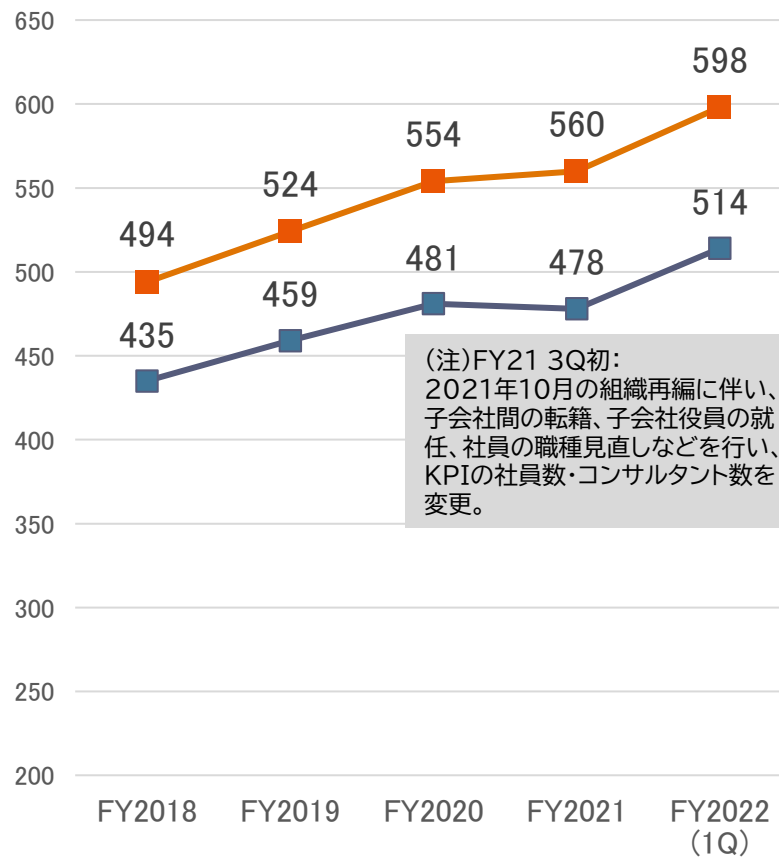
新卒は2022年4月1日に36名が入社。経験者は第1四半期に18名が入社。2023年3月期の経験者入社50名程度、2023年4月の新卒入社50名程度に向けて、採用活動は順調に進捗。

### 年間採用人数(コンサルタント)

単位:人



### グループ社員数(■)・コンサルタント数(■)



## 2023年3月期 連結業績予想

単位:百万円	2023年3月期	対前期 増減額	対前期 増減率	2023年3月期 第1四半期実績	進捗率
売上高	17,200	1,545	10%	3,871	23%
営業利益	3,180	420	15%	631	20%
経常利益	3,180	415	15%	644	20%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,000	335	20%	392	20%

連結業績見通しにおいて、投資事業はその事業特性から国内・海外の株式市場並びに新規上場市場の影響を強く受け、収益水準の振幅が大きくなる可能性があります。現時点で把握可能な情報に基づき業績予想を行っております。

# 配当方針

- 財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるために必要な内部留保とのバランスを重視する。
- 安定かつ継続的な配当を行う。
  - 2023年3月期 年間配当金  
1株当たり 15円

(注)上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

## (参考) 2025年度〔2026年3月期〕 ありたい姿

	<u>2026年3月期 ありたい姿</u>	<u>2023年3月期 連結業績予想</u>	<u>年平均成長率 (CAGR)</u>
<b>連結売上高</b>	<b>250 億円</b>	<b>172 億円</b>	<b>13%</b>
<b>経常利益</b>	<b>70 億円</b>	<b>32 億円</b>	<b>30%</b>
<b>利益率</b>	<b>28%</b>	<b>19%</b>	<b>—</b>
<b>人員数</b>	<b>約800 名</b>	<b>約600 名</b>	<b>約10%</b>

- 当社グループは、昨今の変化の激しい環境においては、毎年機動的に戦略を見直し、翌年度事業計画に反映していくことが望ましいと考えているため、中期経営計画を策定しておりません。
- 「ありたい姿」は、当社グループの中長期の成長イメージを株主・投資家の皆さまと共有する目的で、数年ごとに参考情報として公表しています。

## (参考) サステナビリティへの取り組み

企業の価値を財務価値と非財務価値を総合したものと捉え、SDGs(持続可能な開発目標)、ならびにESG(環境、社会、ガバナンス)を重視して事業を推進。

### 基本方針

「Create a Beautiful Tomorrow Together」の実現を通じて、持続的な美しい社会の創造を目指します

- 2021年10月にサステナビリティ委員会を設置。気候関連課題をはじめとしたESG・SDGs関連の重要課題の検討やリスクモニタリング、取締役会への定期的な報告を通じて、ESG・SDGsへの取り組みを強化。
- シグマクス・グループの事業および活動に対し、「B Corporation(Bコーポレーション) 認証」を取得。2022年5月時点で、世界80か国・5000社をこえる企業が認証を取得しており、当社グループの認証取得は日本の上場企業としては初。



関連リンク

・ B Corporation ウェブサイト  
<https://www.bcorporation.net/>



## (参考)サステナビリティへの取り組み〔環境〕

自社での取り組みに加え、日本企業のトランスフォーメーション推進をはじめとした事業活動を通じ、パートナーとのコラボレーションで環境や社会へ貢献する。

- **コンサルティング事業**

経済産業省産業技術環境局が主導する『GXリーグ基本構想』賛同企業。  
新経済連盟『カーボンニュートラルWG(ワーキンググループ)』参画。

- **投資事業**

地球資源を賢く活かしながら、人々の暮らしを豊かにする領域(リジェネラティブ&ウェルビーイング)を投資領域と位置づけ、価値創造を支援する投資業務を推進。

〔再生可能エネルギー関連投資先〕 自然電力株式会社、フォレストエナジー株式会社

- **シグマクシス・グループ**

社内情報のペーパーレス化を推進。また、自社事業所内でのペットボトル飲料提供を完全廃止、プラスチック素材のクリアフォルダーを紙素材に切り替え。

	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績
電気使用量	222,556kw	222,824kw	191,730kw
紙使用量	3,380Kg	1,420Kg	1,080Kg
廃棄物量	8,969Kg	4,313Kg	5,497Kg
リサイクル量	2,800Kg	2,160Kg	2,160Kg

### 関連リンク

・TCFDに基づく情報開示 <https://www.sigmaxyz.com/company/sdgsesg/tcfd/>

## (参考) サステナビリティへの取り組み〔社会〕

- **コンサルティング事業**

SDGsの達成に向け、顧客課題の解決のみならず、社会課題の解決に向けた付加価値活動の展開を目指し、プロジェクト開始時に、プロジェクトがSDGsの17のゴールのいずれの項目の達成に貢献するかにつき、顧客との合意形成の場を必ず設定。

SDGs関連プロジェクトの割合(契約高ベース)

**2021年度 44%**

(2020年度 38%)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



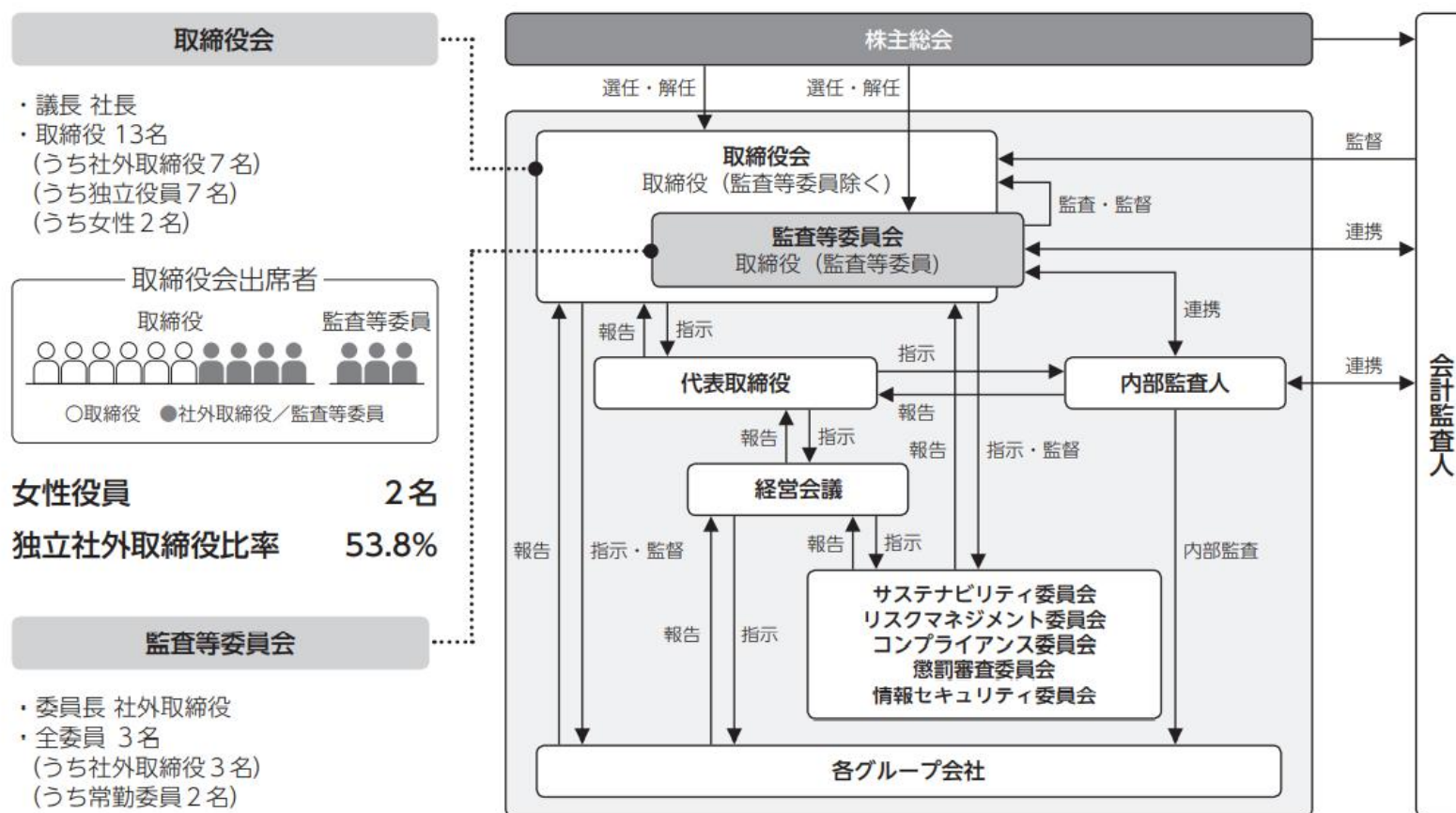
- 社会課題の解決に向け、内外の共感者・賛同者を集めエコシステムを形成する「ソーシャル・マルチサイド・プラットフォーム」構築を推進。
- 国内産業および地方の活性化を支援するとともに、事業取引の8割を超える地域雇用・調達を通じて、新たな価値を生むエコシステム形成に継続的に取り組む。
- 多様な人財が集まり、活躍できる環境作りに注力。

	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2030年度 目標
女性管理職数 (比率)	34名 (14%)	38名 (15%)	43名 (18%)	25%
中途採用管理職数 (比率)	215名 (90%)	221名 (88%)	206名 (83%)	80% 維持
外国人管理職数 (比率)	0名 (0%)	1名 (0.4%)	2名 (0.9%)	2.5%

# (参考) サステナビリティへの取り組み〔ガバナンス〕

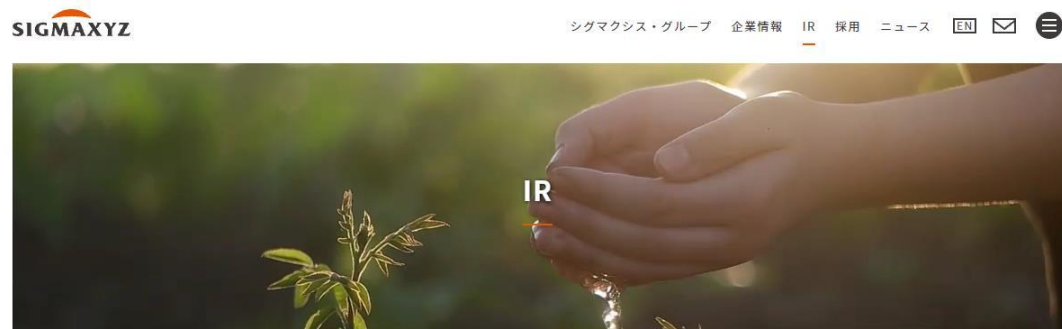
コーポレート・ガバナンス体制のより一層の充実を図るため、複数の独立社外取締役を含む監査等委員である取締役で構成する監査等委員会を置くことにより、取締役会の監督機能を一層強化し、経営の透明性の確保や効率性の向上を図れるものと考え、この体制を採用しております。

## 株式会社シグマクス・ホールディングス コーポレート・ガバナンス体制(2022年7月時点)



# (参考)決算補足資料の音声解説

決算発表当日の18時に、本資料の音声解説を弊社ウェブサイトIRページに掲載いたします。



IR情報

[www.sigmaxyz.com/ir/](http://www.sigmaxyz.com/ir/)





## 本資料の取り扱いについて

本資料は、シグマクシス・グループの事業および業界動向に加えて、現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シグマクシス・ホールディングスは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、株式会社シグマクシス・ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

URL: [www.sigmaxyz.com](http://www.sigmaxyz.com)

問い合わせ先: [sigmaxyz\\_ir@sigmaxyz.com](mailto:sigmaxyz_ir@sigmaxyz.com)

